

「アクションプラン 2030」 ver2

～未来の働き手たちのために

2023年5月策定

I) 使命とビジョン

使命

我々は社会インフラの一端を担っており、電気を通じて人々の生活を豊かにする使命があります。

ビジョン

現場密着で、需要を創り出し、総合的な提案で、顧客満足度を高めます。最新の商品を広く普及し、人々の快適な生活に貢献する「電気設備とエネルギーの総合商社」を目指します。

II) 全日電材連の歴史

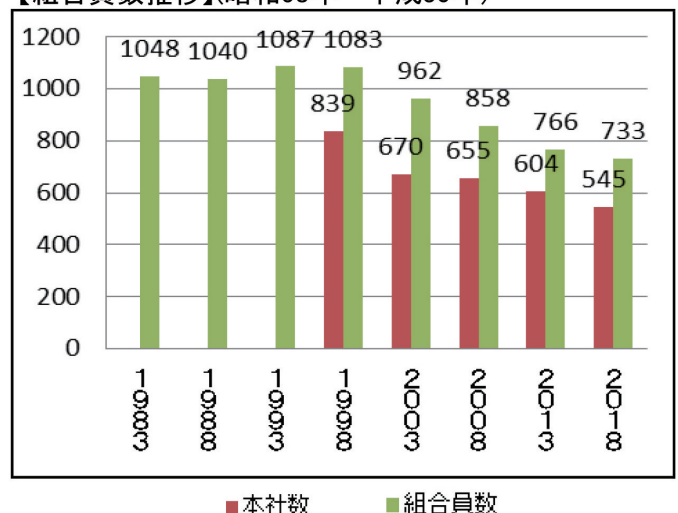
【沿革】

昭和 48 年	全国 13 地区約 30 人の電材卸業が東京・五反田の電波ビルに集結し、任意団体設立。
昭和 49 年	全日本電気工業業工業組合連合会を表敬訪問。米沢外秋会長らと懇談。シンボルマークならびに会報誌第 1 号を発行。
昭和 52 年	「第 1 回電設資材卸業者全国大会」を京都国際会館で開催。全国 42 単組の理事 110 名ほか賛助メーカーが多数参加、松下幸之助氏も駆け付けた。
昭和 58 年	法人化、法人初代会長に因幡弥太郎氏を選出した。
平成 5 年	創立 10 周年記念式典を東京・ホテルオークラで開催。
平成 15 年	法人化 20 周年記念式典（帝国ホテル）にて「海外研修を通じて見た日本の電材卸業の現状と将来展望」と題したシンポジウムを実施。
平成 18 年	機関誌『New Wave』での連載記事「当たり前を当たり前」を研修用に製本し発刊。
平成 22 年	東北大震災の後、電力供給のひっ迫に対処するために、工・製・販三者が連携して、「パワーセービング活動」を推進。
平成 25 年	法人化 30 周年記念式典を第一ホテル東京で開催。会員企業の指針となる「コンプライアンス指針」を総会で宣言する。
平成 26 年	設立の翌年以降発行してきた機関誌『NEW WAVE』をA4サイズにし、内容を大幅刷新。
平成 28 年	業界および連合会の近未来を鑑み、第 1 回「若手経営者の会研修会」をスタート。
平成 29 年	「働き方改革」への取り組みと理解・協力をお願いを得意先団体へ要請し、当連合会の姿勢を明確にする。
令和 2 年	「WAKU WAKU DENZAI」のスローガンを掲げた「アクションプラン2030」の策定。
令和 4 年	SDGs取組み宣言を公表し、協賛メーカーの「SDGs貢献いちおし商品」を推進。
令和 5 年	法人化40周年式典を品川プリンスホテルで開催。

【歴代会長】

大熊光太郎	大洋電気(株)	S48～S51
因幡弥太郎	因幡電機産業(株)	S52～S59
堀井秀雄	ミツワ電機(株)	S59～H3
横山栄十郎	(株)扇港電機	H4～H5
川上稔	丸新電機照明(株)	H6～H9
寺脇俊雄	(株)日本電商	H10～H11
忍田檜蔵	(株)カンサイ	H12～H13
高桑健治	(株)キョー・エイ	H14～H17
三神純一	(株)工ミヤ	H18～H19
鈴木秀一	三鈴電工販売(株)	H20～H23
岡本俊雄	岡本電機(株)	H24～H27
若林邦彦	(株)デンセン	H28～H29
忍田勉	(株)カンサイ	H30～R4
小島寿之	小島電機工業(株)	R4～

【組合員数推移】(昭和58年～平成30年)

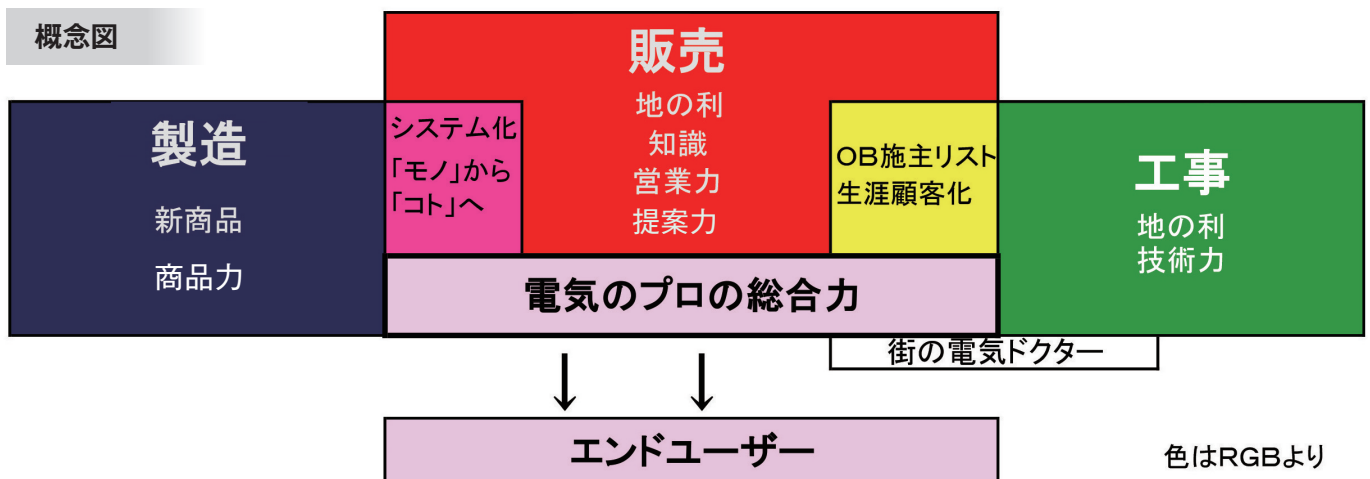


Ⅲ) 取り巻く環境

経営環境の俯瞰

外部要因	【地球環境】
	日本政府は2050年までのカーボンニュートラルを目指す SDGs（エスディージーズ）2015年国連サミットで採択された 「持続可能な開発目標」 ESG（環境、社会、ガバナンスの頭文字をとった企業価値の評価指標） 地産地消～地域でのエネルギーのシェア化 シェアエコノミー経済の台頭（車、自転車、家、家電など）
	【ビックデータの活用】
	GAFA（グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル）の発展 IoTの進展、AI（人工知能）の台頭
	【ICT環境の進展】
	5Gによる情報伝達量の増大とスピード化、メタバースの活用 キャッシュレス支払いの普及
業界内部要因	【国際化】
	グローバルスタンダード 外国人労働者の増加（新たな特定技能制度）
	【ヒトの変化】
	価値観の変化と多様性の尊重 人生100年時代、終身雇用の崩壊 人口減少、少子高齢化
	【電気の自由化】
	AI、IoT対応の新しい電気のカタチ → ワイヤレス充電、給電の進展 通信業界、ガス業界の参入 スマートメーター普及によるデータを活用した各種サービスの台頭 太陽光発電を中心とした分散型発電の普及、蓄電池の普及
業界内部要因	【商流変化】
	異業種参入、インターネット販売・リース販売の増加 新規参入企業の製販の一体化、大手通販会社からの圧迫 事業承継難による卸業組合員の減少、電気工事店の減少
	【働き手の不足】
週休2日制への移行（採用対策） 業界の魅力認知不足、異業種による社員引抜き問題 請け負い、商習慣のしわよせ（配送、時間外） 業界固有の働き方改革の課題（建築工程） 電材業界をアピールして認知度をあげる必要	

Ⅳ) 重点施策 「成長拡大戦略と安定戦略」



IV) 重点施策「成長拡大戦略と安定戦略」

拡大成長 戦略 (攻撃)	(参入ライバル競争)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事店様と連携で人脈伝いの施主直接営業、OB 施主営業 (前進化するため、工・販の役割分担の明確化) ・ エンジニアリング力の強化 (リニューアル業者との連携又はM&A) ・ 施主の情報入手ツールである SNS の活用、対策
	エンドユーザー 接近営業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材工元請け体制づくり (工事業界と連携)、生涯顧客づくり ・ リース、クレジット体制の構築 ・ SNS を活用してユーザーへ働きかける
	「モノ」から「コト」へ 製品主体のビジネス からソリューション ビジネスへの転換 (成長の源泉)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施主営業スキル (経営全般の知識、経営課題へのソリューション力) 向上 ・ 対ユーザーへのコミュニケーション力・商談力の育成 ・ 卸業から「エレクトロニクス (電気) の専門商社」へ ・ 女性が活躍できる場 (ユーザー提案部隊、快適生活の提案) の拡充 ・ 異業種との協業
	粗利の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社員の意識改革 (商品知識・提案力) ・ 提案営業 (コンサル営業) により役立ちを高める
	適正利益	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売方法の洗い直し → 高収益事業へのシフト ・ 付加価値を高めて「稼ぐ力」をつける
安定 戦略 (守備)	事業継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業が発展するための中長期計画書の作成と実行 ・ 経営力強化のための BCP 策定 ・ 長期計画による事業承継の実施、後継者育成 ・ 金融機能強化、債権保全 ・ お客様に選ばれてきた理由=強みの洗い出し
	人財	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営理念の実践 ・ 採用、育成のための社員教育制度、評価制度の確立 ・ 就業規則の見直し、整備 (働き方関連法案対策) ・ スキル向上のための商品知識強化・勉強会実施 ・ 社員の多様性に対応可能な管理職の育成 ・ 若手社員の交流会 ・ 労働環境整備 ・ 引抜き対応策 (他参入業界対策)

【組合支援策】

- ① 業界の地位向上
 - ・ 業界の認知力を上げるための活動

- ② 人材育成支援
 - ・ 情報交換および研鑽の場の提供
 - ・ 研修会講師紹介、コンサルタント (中小企業診断士) 紹介
 - ・ 若手経営者の会による業界次世代人材の育成

- ③ 情報共有
 - ・ 官公庁情報、関連団体情報、異業種情報の提供
 - ・ (情報発信事業) 機関誌『NEW WAVE』、ホームページ

- ④ DX 支援
 - ・ (DX 関係事業) DX 業務効率、電力タ・電二郎斡旋
 - ・ EDI の仕組み構築

- ⑤ 労務環境改善支援
 - ・ 働き方改革への後方支援 (完全週休2日制への環境づくり等) (全日電工連、日本電設工業協会と連携)
 - ・ 福利厚生 (リロクラブ) の斡旋
 - ・ メンタルヘルス対応 (業務災害保険)、産業医紹介
 - ・ グループ共済保険、ハイパー労災保険の斡旋

V) 組織

委員会名	事業内容
総務	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業へのグループ共済、損害保険、福利厚生などスケールメリットを活かした事業 ・全国 29 単組の活動の側面支援 ・連合会の予算編成、財源確保および会計の健全化の管理
市場活性	<ul style="list-style-type: none"> ・環境変化に対応する営業活動の情報提供 ・工・製・販のパートナーシップ強化による、需要創造活動 ・全国 29 単組の技術研修会開催事業の支援
経営	<ul style="list-style-type: none"> ・会員企業の経営改善に関する情報の提供 ・経営に資する実態調査 ・全国 29 単組の経営研修会、人材育成研修会開催事業の支援
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌『NEW WAVE』毎月発行による、活動の公開と情報提供 ・ホームページによる迅速な情報の提供
次世代プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員若手組織の運営、支援 ・生産性向上のための業界EDIの推進

VI) スローガン

[WAKU WAKU DENZAI]

- ①仕事が湧く湧く（エレクトロニクス（電気）関連の総需要は大きく拡大）
- ②気持ちがワクワク（エネルギーの電化による新分野での商売にビジネスチャンス拡大）



ロゴマークの由来

- ・人と社会との繋がり、親しみやすさとエネルギーを感じさせるオレンジとしっかりとした重みのある信用感を出す黒のシンプルな2色で構成。
- ・四角い囲みに一文字ずつ「DENZAI」の文字を配置したイメージは、ブロックを一つ一つ集めて、横へ積み重ねていく力「アッセンブル」を表現。（アッセンブル：組み立てる。ある目的のために集める）
- ・WAKUWAKUの「W」のみ大きく見せ、「Win-Win」の関係も表現。
- ・また、オレンジのブロックのみを浮き立たせ、「DNA」を強調。「アクションプラン 2030」を通して、未来の働き手達のために、これからも「世代を超えて繋がる」という意味合いを持たせてあります。